

6 ごみの処理

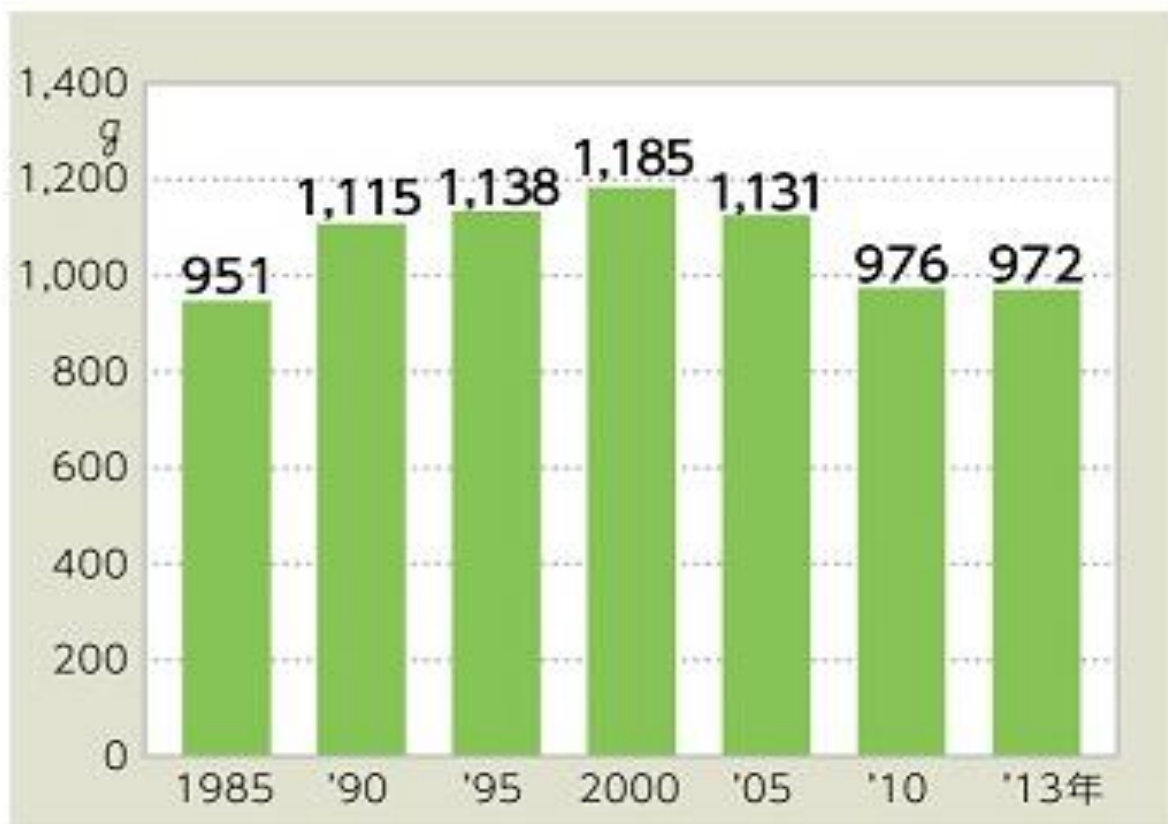
教科書 P46,47

ワークシート

ノート 2年 P12,13

◎1年間で、一人当たりどのくらいの ゴミを出していると思う？

資料① ごみの量 (一人1日当たり)



(環境省による)



①ごみの処理

家庭から出されるごみ



一人1日あたり920g(2018年度環境省)

主な処理方法

(資源化)、(再利用)、
(焼却)、(埋め立て)

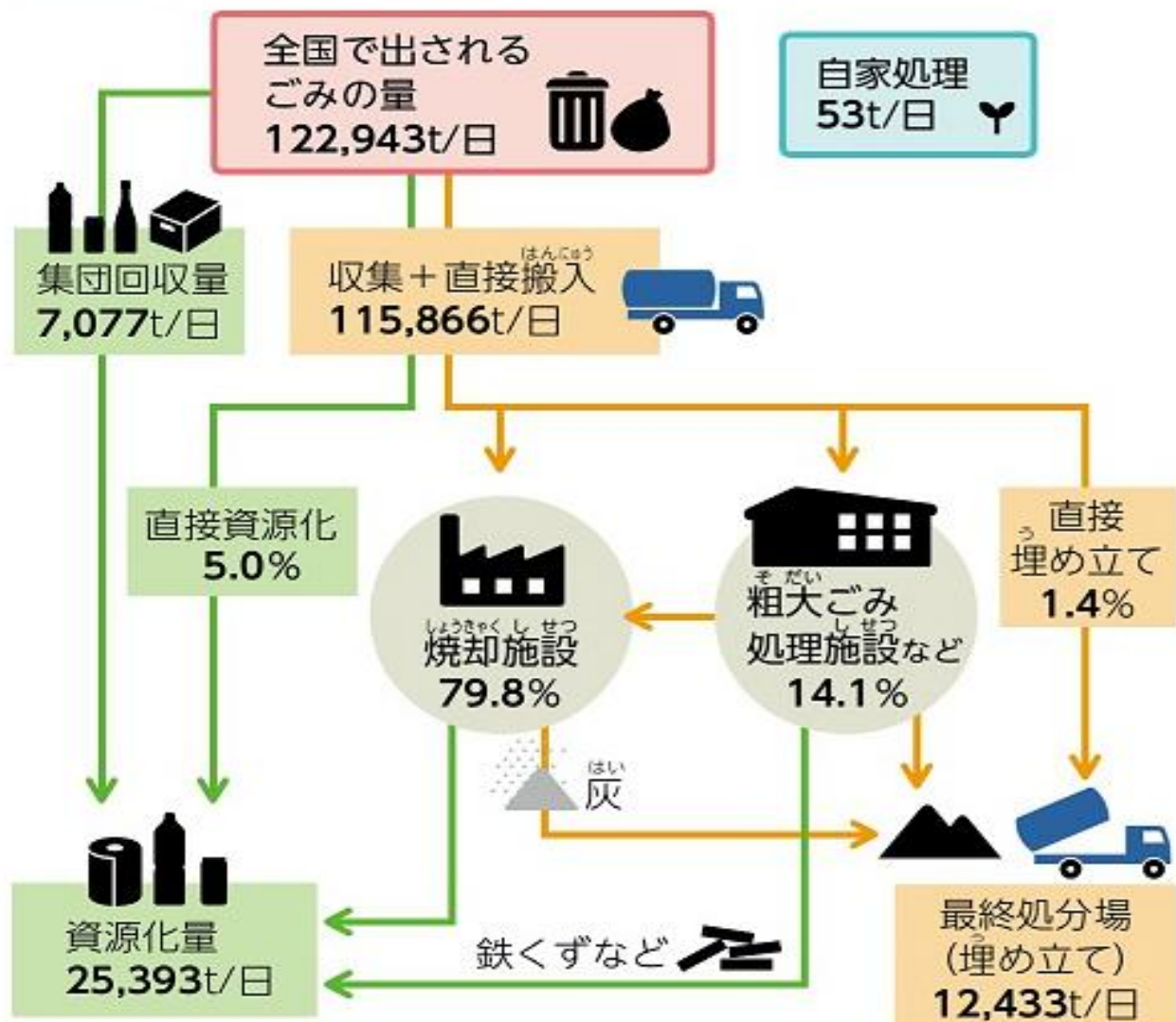


環境省は平成31年3月26日に、平成29年度における全国の一般廃棄物（ごみ及びし尿）の排出及び処理状況等の調査結果を取りまとめました。なお、平成23年度から国庫補助による災害廃棄物の処理量、経費等を除いております。

（主な結果）

- ・ ごみ総排出量は4,289万トン（東京ドーム約115杯分）、1人1日当たりのごみ排出量は920グラム。
- ・ ごみ総排出量、1人1日当たりのごみ排出量ともに減少。
- ・ 最終処分量は前年比3.0%減少。リサイクル率は横ばい。
- ・ ごみ焼却施設数は減少（1,120施設 → 1,103施設）。
- ・ 発電設備を有するごみ焼却施設数は全体の34.1%であり、昨年度の32.0%から増加。
- ・ ごみ焼却施設における総発電電力量は増加（9,207 GWh、約310万世帯分の年間電力使用量に相当）。
- ・ 発電設備を有するごみ焼却施設数、ごみ焼却施設における総発電電力量ともに増加。
- ・ 最終処分場の残余容量は増加したものの、最終処分場の数は概ね減少傾向にあり、最終処分場の確保は引き続き厳しい状況。
- ・ ごみ処理事業経費は増加。

資料② ごみの行方（処理）（2013年度）



(環境省の資料より作成)



○ごみの排出・処理状況(H29年度)

・ごみ総排出量

(4289億)t

東京ドーム
110杯分
以上

・リサイクル率

(20.3)%

・最終処分可能残余年数

(21.8)年

・廃棄処理事業経費

(19745億)円！

* (ダイオキシン)の発生

* 処理で出る熱を(発電)に利用



1. ごみの排出・処理状況

(1) ごみ排出の状況

・ ごみ総排出量 4,289 万トン (前年度 4,317 万トン) [0.6% 減]

・ 1人1日当たりのごみ排出量 920 グラム (前年度 925 グラム) [0.5% 減]

(参考：外国人人口を含まない場合 938 グラム、前年度 942 グラム [0.4% 減])

(2) ごみ処理の状況

・ 最終処分量 386 万トン (前年度 398 万トン) [3.0% 減]

・ 減量処理率 99.0 % (前年度 99.0 %)

・ 直接埋立率 1.0 % (前年度 1.0 %)

・ 総資源化量 868 万トン (前年度 879 万トン) [1.3% 減]

・ リサイクル率 20.2 % (前年度 20.3 %)

2. ごみ焼却施設の状況

(平成29年度末現在)

・ 施設数 1,103 施設 (前年度 1,120 施設) [1.5% 減]

・ 処理能力 180,471 トン/日 (前年度 180,497 トン/日)

・ 1施設当たりの処理能力 164 トン/日 (前年度 161 トン/日)

・ 余熱利用を行う施設数 754 施設 (前年度 754 施設)

・ 発電設備を有する施設数 376 施設 (前年度 358 施設) (全体の34.1%)

・ 総発電能力 2,089 MW (前年度 1,981 MW) [5.5% 増]

・ 総発電電力量 9,207 GWh (前年度 8,762 GWh) [5.1% 増]

(約295万世帯分の年間電力使用量に相当)

3. 最終処分場の状況 (平成29年度末現在)

・ 残余容量	1億287 万m ³ (前年度 9,996 万m ³)	[2.9 % 増]
・ 残余年数	21.8 年 (前年度 20.5 年)	

4. 廃棄物処理事業経費の状況 注1)

・ ごみ処理事業経費	19,745 億円 (前年度 19,606 億円)
------------	---------------------------

うち

建設改良費	3,597 億円 (前年度 3,385 億円)
処理・維持管理費	15,038 億円 (前年度 15,078 億円)

注1) 平成23年度以降は、国庫補助金交付要綱の適用を受けた災害廃棄物処理に係る経費を除くが、平成22年度では当該経費が含まれる。



* 埋め立て地周辺の環境問題

- ・大気汚染、地球温暖化
- ・埋め立て→水銀、カドミウム、鉛、クロム

* 不法投棄問題

- ・モラル低下の極み



②循環型社会を目指して

ごみ処理施設の整備・管理
ごみの減量やリサイクルの推進

○地方自治体

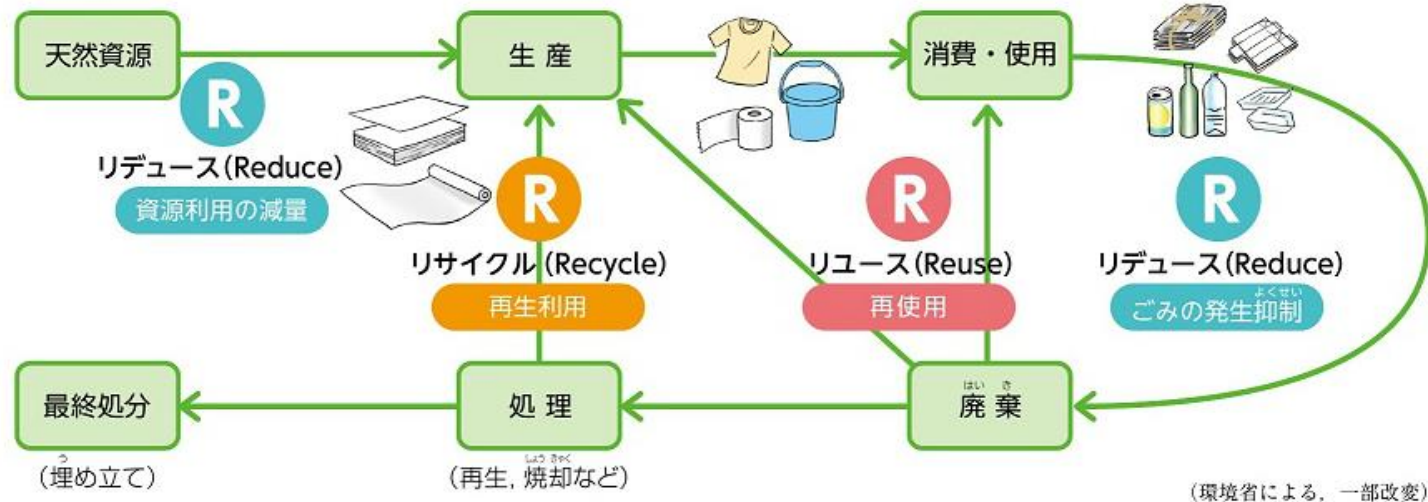
→ごみの(分別)、資源化、(有料)化

○(企業)

→減らす努力、有害物質の未使用、リサイクル、長持ちする製品開発

○私たち→必要なもの・環境に優しい商品を買う、(リサイクル)に協力

資料④ しやんがわ 循環型社会の姿



リデュース
Reduce
ごみの発生抑制



使う量を減らす。
容器や包装を減らす。

リユース
Reuse
再使用



詰め替え製品を使う。不要な物でも欲しい人がいれば譲る。

リサイクル
Recycle
再生利用



分別して資源として使いやすくする。リサイクル製品を使う。



保健は（**実践**）の学問！

知識として頭に入れてるだけでは**全く意味がない！**

今回の内容は、自分の生活の中でどんなところに関わりますか？また、生かされますか？